

件 名： 脱炭素社会実現に向けた機会【諏訪市「ゼロカーボン」マガジンvol.5】

【諏訪市「ゼロカーボン」マガジン】 vol.5 (R5.6.1)

このメールマガジンは、諏訪市ゼロカーボンシティ宣言にご賛同いただきメールアドレスの登録がある方、その他関係者の方に対して不定期にお送りしています。

今回の内容

- 1 給水スポットの設置について
2 外来生物とは

【1 給水スポットの設置について】

脱炭素社会と循環型社会実現に向けた意識醸成を目的に、諏訪市ではマイボトルをお持ちいただければ誰でも使用できる給水スポットを設置しています。設置場所については、「mymizu」及び「水-MUJI Life（水アプリ）」というアプリに登録してあります。

＜設置場所（R5.6.1時点）＞

- ・諏訪市役所（1～4F）
- ・駅前交流テラスすわっちゃオ
- ・諏訪市保健センター
- ・諏訪市総合福祉センター
- ・諏訪湖間欠泉センター
- ・諏訪市観光案内所（上諏訪駅）
- ・霧ヶ峰自然保護センター

※それぞれ施設の開館、営業時間のみ利用可能です。

※利用にはマイボトルが必要です。

＜取組説明動画（諏訪市公式Youtubeチャンネル）＞

<https://youtu.be/3ATijjt85r4>

この取組は、諏訪市とウォータースタンド株式会社との「プラスチックごみ削減と脱炭素社会実現に係る連携協定」の一環です。事業者・団体においてこの取組の意図に賛同し、意識醸成を共に実施いただける場合には、指定のウォーターサーバーを給水スポットとして店舗等に設置するための初期費用免除が可能となります。（毎月の使用料は必要です。また、意識醸成のための設置である必要があります。）

また、ウォーターサーバーでなくともマイボトルへの給水を可能とする給水スポットとしてサービス提供をいただける場合でも、ポスターパネル提供等を予定しています。

詳しくはゼロカーボンシティ推進室までお問い合わせください。

【2 外来生物とは】

外来生物とは、人間の活動によってほかの地域から持ち込まれ、本来その地域には生息・生育していなかった生き物（動物・植物）

のことを言います。外来生物は繁殖力が非常に強いことが多く、いったん生息・生育してしまうと駆除するには多くの労力と長い時間が必要です。

＼外来生物被害予防三原則／

- ①入れない：外来種を非分布域へ「入れない」
- ②捨てない：外来種を「捨てない」「逃がさない」「放さない」
- ③拡げない：外来種を他地域に「拡げない」「増やさない」

市内では、オオキンケイギク、アレチウリ、オオハンゴウソウの3種類の特定外来生物（植物）の生育が確認されています。自宅の敷地内などで見かけた場合は、駆除にご協力をお願いします。特定外来生物の詳細はホームページに掲載していますので、ご覧ください。

↓諏訪市公式HP

<https://www.city.suwa.lg.jp/soshiki/10/2129.html>

そして…みんなで上川の外来生物駆除を行う機会があります！
ぜひ、皆さんのお力をお貸しください。

★上川アレチウリ駆除作業ボランティア募集！★

日時：6月17日（土）午前7時から

場所：上川河川敷 車橋～鷹野橋の一部

詳しくは市HPをチェック↓

<https://www.city.suwa.lg.jp/soshiki/10/55644.html>



給水スポットの設置は、脱炭素社会や循環型社会実現へ向けた取組の中でも始めやすい内容です。近年は、これを店舗等のイメージアップとして取り入れる事例もあります。ぜひ一緒に取組が出来ればと思います。

（本メールの内容についてのお問い合わせ先）
諏訪市市民環境部ゼロカーボンシティ推進室
メール：zero-carbon@city.suwa.lg.jp
電話：0266-52-4141（内線214）